

授業計画（シラバス）

教育内容	人間と生活社会の理解				
科目名	教育学	対象学年	2年生		
単位（時間数）	2単位（30時間）	講義時間	28時間	試験時間	2時間
講師名	外来講師	実務経験	大学教授		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学の基礎的事項を習得し、基本的語句の意味を説明することができる ・授業で学んだ知識や自らの経験に照らし合わせ、日本社会が抱える教育問題の現状や課題、またその背景や改善策について指摘することができる ・設問に対する解答や自分の見解を、適切な語句や表現を用いて論理的に説明することができる ・自分自身を客観的に省察し、これからの自分のキャリアについて考えることができる 				

回数	単元・授業内容	授業形態	使用教材
1	【教育学を学ぶ意味について考える①】 教育とはどのような営みかを考える。教育学の学問的特徴や教育学の諸領域について学ぶ。	講義	資料
2	【教育学を学ぶ意味について考える②】 教育と看護の共通点や相違点について考えながら、教育学を学ぶ意味について考える。	講義	資料
3	【日本の教育と家族・社会】 日本社会の変化と変容していく家族について学び、子どもを取り巻く環境を理解する。	講義	資料
4	【人々の育ちや学びを支える理念・法・制度を知る①】 日本国憲法や教育基本法など、人々の育ちや学びを支えている理念を理解する。またそれらに関する教育課題についても学ぶ。	講義	資料
5	【人々の育ちや学びを支える理念・法・制度を知る②】 日本の教育制度の特徴を他国とも比較しながら理解し、人々の育ちや学びを支えている制度について学ぶ。まあそれらに関連する教育課題についても学ぶ。	講義	資料
6	【日本の教育課題を考える①】 日本の学校が抱える課題を、「いじめ・不登校・体罰」から考える。	講義	資料
7	【日本の教育課題を考える②】 日本の学校が抱える課題を、「貧困と教育格差」から考える。	講義	資料

授業計画（シラバス）

8	【日本の教育課題を考える③】 日本の学校が抱える課題を、「教育とジェンダー」から考える。	講義	資料
9	【日本の教育課題を考える④】 テーマは受講生の関心により決定する	講義	資料
10	【日本の教育課題を考える⑤】 各自が興味を持った教育に関する新聞記事を紹介し、グループでディスカッションを行う。	講義 演習	資料
11	【人々の育ちや学びを支える理念・法・制度を知る③】 子どもの権利条約について学び、子どもの人権に関する考え方を理解する。また、近年の子ども施策の動向についても触れる。	講義	資料
12	【自分について考える①】 自分もっている人間観・看護観について振り返り、それらを他の受講生と比較してみる。	講義 演習	資料
13	【自分について考える②】 看護職を目指すきっかけとなった出来事や自分に影響を与えた人物など、自分のこれまでを振り返り、自分史を作成する。また、今後のキャリアとライフプランを考えてみる。	講義 演習	資料
14	【自分について考える③】 自分に関するエッセイを執筆し、グループ内で自分に関するエッセイを発表する。また、他の受講生のエッセイに対してコメントしてみる。	講義 演習	資料
15	終講試験		
教科書	系統看護学講座 教育学（医学書院）		
参考図書	木村・小玉・船橋著『教育学をつかむ【改訂版】』有斐閣 2019年 その他、関連する図書は授業中に適宜紹介する		
評価方法	終講試験、授業中の取り組み		